



<http://www.ohashi.co.jp>

### 株式メモ

- 決算期 毎年3月31日  
配当金受領 利益配当金 毎年3月31日  
株主確定日 中間配当金 毎年9月30日  
定時株主総会 毎年6月中  
基準日 毎年3月31日および中間配当金の支払を行うときは9月30日  
その他必要がある場合は、あらかじめ公告して停止いたします。  
公告掲載新聞 日本経済新聞  
名義書換代理人 東京都港区芝3丁目33番1号  
中央三井信託銀行株式会社  
同事務取扱所 東京都杉並区和泉2丁目8番4号  
証券代行事務センター(〒168-0063)  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話(03)3323-7111(代表)  
同取次所 中央三井信託銀行株式会社 日本各支店  
日本証券代行株式会社 本支店



(証券コード:7628)

〒163-0921 東京都新宿区西新宿2-3-1新宿モノリス21階  
TEL.03-5321-3411(代)



この事業報告書は、エコマーク認定の古紙配合率100%の再生紙を使用し、アロマフリータイプ大豆インキで印刷されています。



## 第54期 中間事業報告書

平成17年4月1日～平成17年9月30日

# Solution Provider



# President's Message

## ごあいさつ



代表取締役社長  
古尾谷 健

### 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業経営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今上半期、国内経済は輸出や設備投資の増加、個人消費の堅調さなどから、ようやく景気回復の兆しが見え始めてまいりました。その中で、当社の主力市場であります自動車業界では、上半期の国内生産台数は乗用車の新車販売の好調さを背景に、順調に推移いたしました。

このような状況下、全社を挙げて業績の拡大と経営基盤強化に取り組んでまいりました結果、期初の計画を上回る業績を確保することができました。

引続き業績を安定的に拡大させていくため、当社では全社員一丸となって、地球環境の改善に貢献することを目的とした「開発提案型営業」を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2005年12月

### Contents

- ごあいさつ .....1
- 連結財務ハイライト ...2
- トップインタビュー ...3
- 事業戦略 .....4
- グローバル戦略 .....5
- 連結財務諸表の要旨 ..7
- 単体財務諸表の要旨 ..8
- 株式の状況 .....9
- 会社概要 .....10

## 経営ビジョン

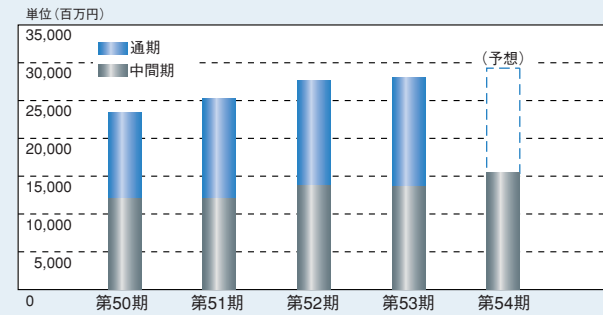
グループの存続と繁栄を目指し、生産財要素部品等を対象とする環境を重視した「開発提案型企业」として、世界のお客様に信頼されるオーハシテクニカを実現する。

# Financial Highlights

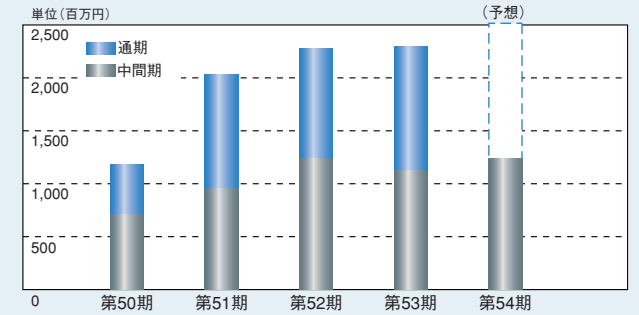
## 連結財務ハイライト

	第50期中間期 平成13年9月期	第51期中間期 平成14年9月期	第52期中間期 平成15年9月期	第53期中間期 平成16年9月期	第54期中間期 平成17年9月期
連結売上高 (百万円)	11,963	12,003	13,664	13,480	15,601
連結経常利益 (百万円)	696	943	1,220	1,107	1,199
連結中間(当期)純利益 (百万円)	304	441	673	627	755
株主資本 (百万円)	9,187	9,620	10,683	12,342	13,635
1株当たり中間(当期)純利益 (円)	34.56	49.97	76.16	68.02	80.76
1株当たり株主資本 (円)	1,042.44	1,088.47	1,207.62	1,322.54	1,453.95

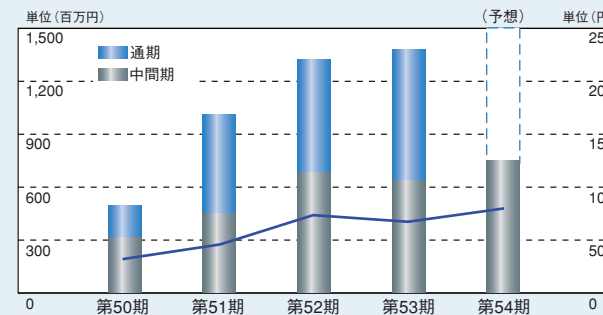
### ■連結売上高



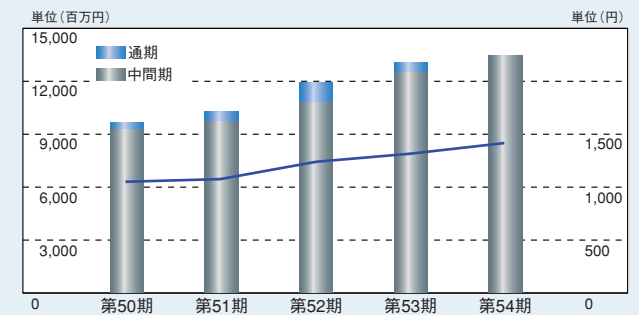
### ■連結経常利益



### ■連結中間(当期)純利益・1株当たり中間(当期)純利益



### ■株主資本・1株当たり株主資本



# Top Interview

## トップインタビュー

### 古尾谷社長に聞く



#### Q1.自動車部門の今期の見通しは

自動車部品事業は、前年度から引続いて好調に推移しています。この背景としては、国内では新規受注品の好調が続いていること、海外では日系自動車メーカーの海外生産の増加に伴う輸出量の増加や、販売拠点を強化してきた海外子会社の業績拡大などがあげられます。

#### Q2.新技術を応用した製品の展開、展望について

「圧入プロジェクション接合技術」を応用した営業展開が、計画通り進んでいます。開発拠点を浜松に移し、スタッフも強化して全国的な営業展開を行っています。今期の売上げ予想は4億円程度ですが、2年後には30億円以上に持っていきたいと思っています。

その他の開発中の製品についても、社会の技術革新のスピードに取り残されることなく、全力で商品化を進めています。

#### Q3.情報通信事業の見通しは

停滞していた国内の携帯電話機市場ですが、ようやく生産台数回復の兆しが見えてきました。併せてアジア、欧米の市場を展望すると、携帯電話機の需要は拡大を続けており、世界の巨大メーカーを相手にビジネスのチャンスは広がっていくものと思います。新しい受注も決まり始めていますし、来期以降、業績の順調な拡大を見込んでいます。

#### Q4.海外の事業展開の動向について

上半期の海外子会社の業績は、いずれも順調に推移しています。さらに、今期中には、およそ25億円の設備投資を予定しており、そのうち海外子会社だけでも17億円となります。

中国広州市の生産子会社の工場が竣工し、本年12月からいよいよ生産を開始する予定です。また、米国、タイの工場では、新しい設備を導入しており、これまで以上に付加価値の高い部品を生産供給し、お客様のご要望にお応えしたいと思っています。

# Strategy

## 上半期の海外事業展開

54期上半期におきまして、特に新しい展開を見せた事項については、次のとおりです。

#### OTF(フィンランド)の開設

5月、オーハシグループで11番目の連結対象子会社となるOHASHI TECHNICA FINLAND LTD.(OTF)を設立いたしました。主として、欧州の携帯電話機メーカーへの営業拠点として活動を進めていきます。



#### 中国の生産工場が竣工

昨年12月に設立した大橋精密件製造(広州)有限公司の工場が、本年11月に完成し、本年12月より生産を開始いたします。当社グループとしては、中国で最初の自動車部品の生産工場であり、発展を続ける中国市場での自動車生産に備えたいと思います。



# Solution Provider

## 問題解決力をもって、成長の原動力とする企業をめざす

市場をみつめ、変化を予測し、様々な技術領域を超えて新たなイノベーションを提案すること、自由な発想で柔軟に市場の変化に対応できる企業へ、それがオーハシテクニカグループのめざすものです。こうした土壌が、社内でどのようにして醸成されていくのか、ご説明します

### (1)教育と研修

入社後、個人個人の能力と経験に合わせて、次のようなステップを経て、教育と研修が徹底的に行われます。その中身は、創業以来、P・F・ドラッカー理論を、経営の哲学として行われています。

#### 業績評価・教育研修制度の内容

- 新規受注品獲得社長特賞制度(上・下期)
- MVS、MVP表彰制度(四半期、通期)
- VA、VE提案表彰制度(上・下期)
- 優秀論文社長特賞制度(幹部、一般別、上・下期)
- 商品知識段位認定制度
- 見積技能認定制度・検査技能認定制度

- 新入社員教育
- 基礎教育
- 中堅社員教育
- 幹部教育
- 経営管理者教育



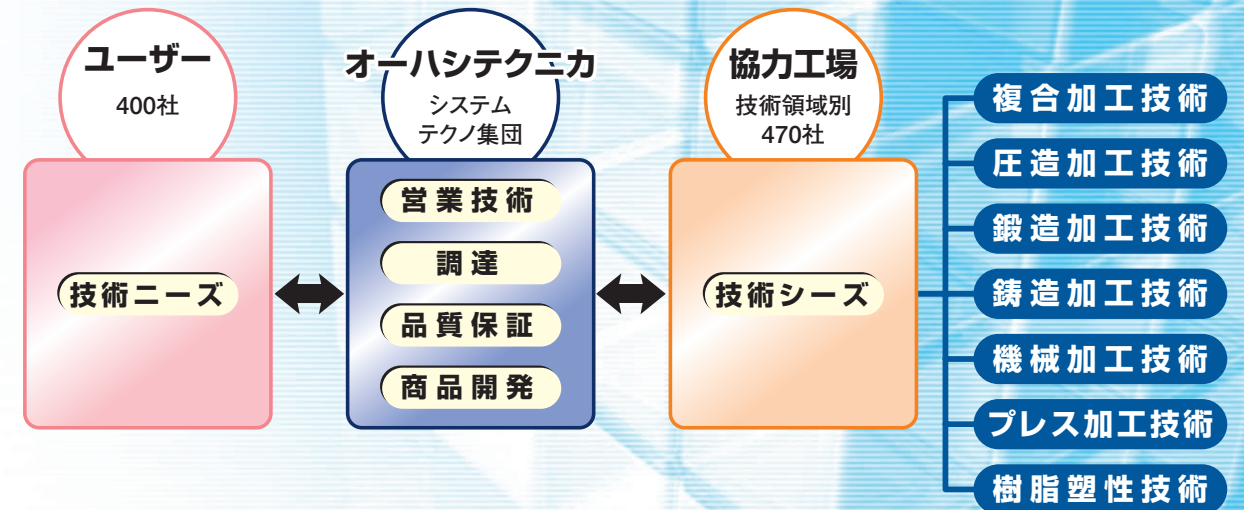
### (2)ファブレス型サプライヤーの事業を究極的に展開する

どのメーカーにも属さない独立系で、しかも自社の生産工場を持たないこと、それはいつでもマーケットアウトの発想で開発提案営業を行えるということです。

当社では470社にも及ぶ協力工場の保有技術・生産能力などを下図にあるように、技術領域別にデータベース化しています。

お客様のあらゆるニーズに対して、その協力工場のどの技術、材質、工法を使えば、期待される品質と技術革新が可能になるかを、見つけ出し提案していきます。

お客様の技術ニーズと、協力工場の技術シーズの間を行き来するワイパーの役割を果たすことで、製造工場を持たないことを逆に強みに変えていこうとするものです。



# Financial Statements

## 連結財務諸表の要旨

	第53期中間期 平成16年9月30日	第54期中間期 平成17年9月30日	第53期中間期 平成16年9月30日	第54期中間期 平成17年9月30日
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>16,916</b>	<b>19,047</b>	<b>流動負債</b>	<b>8,129</b> <b>9,712</b>
現金及び預金	7,479	8,051	支払手形及び買掛金	7,001 8,190
受取手形及び売掛金	6,707	7,652	未払法人税等	378 492
たな卸資産	2,322	2,921	賞与引当金	150 150
繰延税金資産	196	238	その他	599 879
その他	240	201	<b>固定負債</b>	<b>693</b> <b>727</b>
貸倒引当金	△29	△16	退職給付引当金	443 474
<b>固定資産</b>	<b>4,285</b>	<b>5,061</b>	役員退職慰労引当金	208 233
<b>有形固定資産</b>	<b>2,490</b>	<b>2,903</b>	その他	41 19
<b>無形固定資産</b>	<b>332</b>	<b>603</b>	<b>負債合計</b>	<b>8,823</b> <b>10,440</b>
投資その他の資産	1,463	1,554	<b>少数株主持分</b>	
投資有価証券	472	539	少数株主持分	36 33
繰延税金資産	244	268	<b>資本の部</b>	
その他	757	755	資本金	1,767 1,792
貸倒引当金	△12	△8	資本剰余金	1,552 1,578
<b>資産合計</b>	<b>21,201</b>	<b>24,109</b>	<b>利益剰余金</b>	<b>9,033</b> <b>10,162</b>
			その他有価証券評価差額金	120 142
			為替換算調整勘定	△131 △40
			<b>資本合計</b>	<b>12,342</b> <b>13,635</b>
			<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>21,201</b> <b>24,109</b>

**POINT**  
**投資活動によるキャッシュ・フロー**  
 今上半期、海外子会社向けを中心に積極的な設備投資を行いました。

注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 単体財務諸表の要旨

	第53期中間期 平成16年9月30日	第54期中間期 平成17年9月30日	第53期中間期 平成16年9月30日	第54期中間期 平成17年9月30日
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>13,659</b>	<b>14,718</b>	<b>流動負債</b>	<b>7,440</b> <b>8,635</b>
現金及び預金	6,088	5,949	支払手形	188 277
受取手形	831	627	買掛金	6,516 7,518
売掛金	5,741	6,950	未払法人税等	345 396
たな卸資産	817	912	賞与引当金	117 120
繰延税金資産	96	97	その他	273 322
その他	111	187	<b>固定負債</b>	<b>582</b> <b>640</b>
貸倒引当金	△28	△6	退職給付引当金	353 387
<b>固定資産</b>	<b>5,409</b>	<b>6,525</b>	役員退職慰労引当金	208 233
<b>有形固定資産</b>	<b>697</b>	<b>708</b>	その他	20 19
<b>無形固定資産</b>	<b>279</b>	<b>491</b>	<b>負債合計</b>	<b>8,022</b> <b>9,275</b>
投資その他の資産	4,431	5,325	<b>資本の部</b>	
投資有価証券	2,535	2,629	資本金	1,767 1,792
長期貸付金	621	654	資本剰余金	1,552 1,578
繰延税金資産	225	240	<b>利益剰余金</b>	<b>7,605</b> <b>8,455</b>
敷金保証金	263	246	利益準備金	147 147
出資金	—	1,097	任意積立金	6,620 7,370
その他	799	466	中間(当期)未処分利益	838 937
貸倒引当金	△14	△9	その他有価証券評価差額金	120 142
<b>資産合計</b>	<b>19,068</b>	<b>21,243</b>	<b>資本合計</b>	<b>11,045</b> <b>11,968</b>
			<b>負債・資本合計</b>	<b>19,068</b> <b>21,243</b>

注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	第53期中間期 自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	第54期中間期 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日
<b>売上高</b>	<b>13,480</b>	<b>15,601</b>
売上原価	10,218	11,994
売上総利益	3,262	3,606
販売費及び一般管理費	2,204	2,377
<b>営業利益</b>	<b>1,058</b>	<b>1,228</b>
営業外収益	71	39
営業外費用	22	68
<b>経常利益</b>	<b>1,107</b>	<b>1,199</b>
特別利益	12	2
特別損失	43	—
<b>税金等調整前中間(当期)純利益</b>	<b>1,076</b>	<b>1,201</b>
法人税、住民税及び事業税	447	470
法人税等調整額	△4	△28
少数株主利益	6	3
<b>中間(当期)純利益</b>	<b>627</b>	<b>755</b>

	第53期中間期 自平成16年4月1日 至平成16年9月30日	第54期中間期 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,051	983
投資活動による キャッシュ・フロー	△381	△630
財務活動による キャッシュ・フロー	△116	△164
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	10
現金及び現金同等物の増加額	566	198
現金及び現金同等物の期首残高	6,912	7,852
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,479	8,051

# Financial Statements

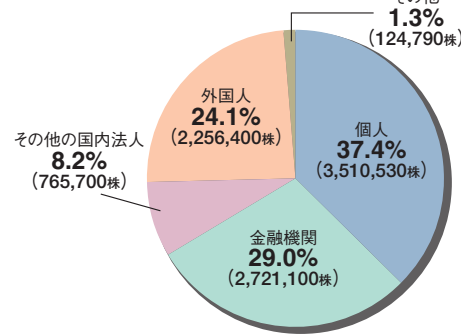
# Corporate Data

## 株式の状況 (平成17年9月30日現在)

■会社が発行する株式の総数	32,000,000株
■発行済株式総数	9,378,520株
■資本金	17億9,242万円
■株主数	3,026名
■大株主	

バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム	1,416,000株	15.09%
株式会社みずほ銀行	440,500株	4.69%
日本トラスティサービス 信託銀行株式会社(信託口)	385,300株	4.10%
日本生命保険相互会社	380,000株	4.05%
古尾谷 健	350,860株	3.74%
久保 好江	254,890株	2.71%
久保 雅嗣	254,890株	2.71%
阿部 泰三	251,300株	2.67%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	228,000株	2.43%
株式会社みずほコーポレート銀行	209,500株	2.23%

### ■所有者別株式分布状況



### 株主の皆様のためのIR情報

#### ①中間配当の実施

今期も、予定通り中間配当を実施することといたします。  
今中間期の配当金は、1株当たり10円となります。

#### ②中間時の株主優待の実施

期末並びに中間期末の株主の皆様に対して、前回と同じく「お米ギフト券」をお送りさせていただくことにいたします。お手持ち株数に応じて、お送りする優待券の内容は、次の通りです。

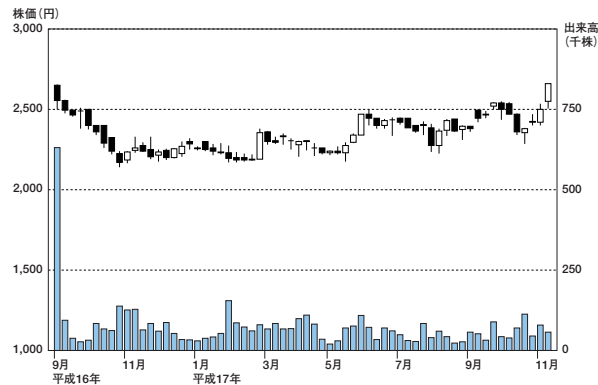
(中間期及び期末それぞれ)		
100株以上	1,000株未満	2kg
1,000株以上	5,000株未満	3kg
5,000株以上	10,000株未満	6kg
10,000株以上		10kg

#### ③今後の会社説明会の予定

1～3月に、東京と大阪で会社説明会を開催する予定です。是非とも、ご参加ください。時間はまだ未定です。

- 1月28日(土) 東京:丸の内トラストタワー  
主催 大和IR
- 2月10日(金) 大阪:朝日生命ホール  
主催 証券広報センター

### ■株式チャート (平成16年9月～平成17年11月)



## 会社概要 (平成17年9月30日現在)

社名	株式会社オーハシテクニカ OHASHI TECHNICA, INC.
本社	〒163-0921 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階
創業	1946年(昭和21年)11月 1953年(昭和28年)3月株式会社に改組
資本金	17億9,242万円(平成17年9月末現在)
従業員数	単体180名、連結615名
事業内容	①自動車、情報・通信を中心とした組立産業の各種製品に使用される要素部品等の企画・設計開発並びに販売 ②海外子会社が販売する部品の国内での調達と輸出業務

役員	取締役社長	古尾谷 健
	取締役	増田 明
	取締役	菊地 孝一
	取締役	久保田 忠
	取締役	青山 清治
	取締役	窪田 清
	取締役	前川 富義
	取締役	堀内 郁夫
	常勤監査役	高木 重輝
	監査役	土田一富三
	監査役	三好 徹
	監査役	田口 弘
	執行役員	小林正一郎
	執行役員	田中 春次
	執行役員	古性 雅人
	執行役員	柴崎 衛



### 国内事業ネットワーク

支店	日立	茨城県ひたちなか市新光町38 ひたちなかテクノセンターB201
	栃木	栃木県宇都宮市東宿郷5-1-16 ルーセントビル5階
	北関東	群馬県太田市西矢島581-6
	立川	東京都福生市熊川987 ヤマガタビル2階
	川崎	神奈川県川崎市川崎区藤崎3-5-1 トークピア川崎4階
	南関東	神奈川県伊勢原市田中257-2 ホワイトメゾンヤマキ2階
	浜松	静岡県浜松市篠ヶ瀬町502-1
	名古屋	愛知県高浜市小池町2-15-10
	大阪	大阪府大阪市北区中津1-15-15 中津第2リッチビル5階

#### 調達本部 調達技術管理グループ

調達室	本社	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階
	大阪	大阪府大阪市北区中津1-15-15 中津第2リッチビル5階
	名古屋	愛知県高浜市小池町2-15-10
	北関東	群馬県太田市西矢島581-6
	諏訪	長野県諏訪市沖田町1-96-2 広瀬橋Sビル
	南関東	神奈川県伊勢原市田中257-2 ホワイトメゾンヤマキ2階
	日立	茨城県ひたちなか市新光町38 ひたちなかテクノセンターB201
情報通信事業部	日立	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階
OTSB開発室	日立	静岡県浜松市有玉台1-6-25

### 海外事業ネットワーク

北米	OHASHI TECHNICA U.S.A. INC. TENNESSEE BRANCH INDIANA SALES OFFICE GEORGIA SALES OFFICE
タイ	OHASHI TECHNICA U.S.A. MANUFACTURING INC. OHASHI TECHNICA (THAILAND) CO.,LTD. OHASHI SATO (THAILAND) CO.,LTD.
英国	OHASHI TECHNICA UK, LTD. NORTHERN BRANCH
欧州	OHASHI TECHNICA FINLAND., LTD.
中国	大橋精密電子(上海)有限公司 大橋精密件(上海)有限公司 上海支店 広州支店 大橋精密件製造(広州)有限公司

### 国内関係会社

(株) オーティーシーロジスティクス	東京都国立市谷保3999-6
(株) OTCTライポロジー研究所	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス21階